

ばんことジャンプ!

市立病院は、現地建て替えの方向で検討中！

10月23日の市立伊丹病院検討特別委員会で、市立伊丹病院と近畿中央病院による「運営共同調査事業と検討委員会」の中間報告がありました。

内容は

- ①双方の条件が合えば、統合して新病院を建設
- ②病院の規模は600床程度
- ③新病院は現在の市立伊丹病院の場所
- ④「脳・心臓疾患」に対応できる高度医療を提供というものでした。

建て替え場所を現在の場所とした理由は、

- ①必要とする3haの土地が他所で確保できない
- ②市の中心で、車で10分以内の距離にある
- ③武庫川・猪名川の洪水でも浸水の心配が無い
- ④活断層が走っていない

ことなどを挙げました。

開院時期は、県立西宮病院が開院する2025年かそれより早い時期を目指している、と藤原市長は明言しました。



脳卒中、脳梗塞、心筋梗塞の患者さんは、尼崎総合医療センター、阪大病院、兵庫医科大学病院、宝塚佐藤東病院などへ運ばれことが多いようです。高度な医療が必要な市民の多くが、市外の病院にからくてもよくなります。また、病院の改編で、高度医療を希望する優秀な医師が集まり、先進的な医療を受けることも期待できます。

新病院ができるにあたっての課題は

- ①市南部の医療ニーズに応えること
 - ②新病院にどこからでも市バス1本で行けること
 - ③今後必要となる回復期病床数を確保すること
- などが考えられます。

市立伊丹病院の改編が市民の皆さんに喜ばれるものになるよう、議会としても市民の皆さんのお声を聴きながら、市に要望してまいります。

今後のスケジュール

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 11月下旬 | 市内3か所で中間報告説明会 |
| 12月下旬 | 検討報告書・基本方針案説明(議会) |
| 1月～2月 | パブリックコメント募集 |
| 2月2日 | 基本方針案市民説明会
(@いたみホール中ホール) |
| 2月下旬 | パブリックコメント報告(議会) |
| 3月議会 | 関連予算提出・審議・採決 |

＜ポイント＞

近畿中央病院は、公立学校共済組合が運営しており、基本的に公立学校の教員やその家族のためにある病院です。現在行っている地域医療は、本来の目的ではありません。地域医療の確保のために、大規模な建て替えや赤字での運営は、設立の目的から難しいと考えられます。伊丹市民の医療ニーズには、伊丹市が責任をもって対応すべきと考えます。

目次	項
*市立病院は現地建て替えの方向で検討中！	1
*児童教育無償化と公立幼稚園の統廃合その後	2
*新庁舎建設と公共施設の建て替え計画	3
*「スマホのながら運転を無くすために」質問	4

幼児教育無償化と公立幼稚園の統廃合のその後

国の無償化に先駆けて、昨年から4, 5歳児の保育料を無償化にした伊丹市。この影響が子どもの数の増加に反映されたかどうかは、かなり微妙です。子どものいる世帯の転入支援策も並行して実施していたこと也有って、若干は増えているようです。今年の10月からは日本全体で3歳児も無償化となりましたので、どこも同じラインに並びました。子どもの数が増えるかどうかは、保育所に入りやすいかどうか、がポイントとなってきます。

市立幼稚園では来年から3歳児保育が始まります。心配していた3歳児の入園希望者は、新しくできる2つのこども園とこうのいけ幼稚園で待機が出ている状態です。他の園ではまだ空きがあります。ただ、4, 5歳児では、統廃合で2クラスを確保する、としていましたが、実際に複数クラスができたのは、2園にとどまっています(10月25日現在)。保育料が無償化になったことで、私立幼稚園の希望者が広がったと考えられます。

これからは、閉園となった幼稚園の跡地をどうするか、に近隣のみなさんの注目が集まりそうです。基本的に「幼児教育のために使う」としていますので、売却して施設建設の資金に充てる予定です。いくつかの園は、民間保育施設誘致のために利用する案も出てきています。地域の施設を、という要望もありますが、住民の皆さんに丁寧に説明して進めていくことが大切ではないでしょうか。

子どもの数の比較(単位:人)

年齢	H29.10.1	R1.10.1
0歳児	1,723	1,687
1歳児	1,735	1,669
2歳児	1,753	1,852
3歳児	1,786	1,845
4歳児	1,868	1,813

閉園後の跡地利用について

園名	市の基本的な考え方
すずはら	売却
南	民間保育施設を誘致か?
稻野	児童くらぶ移転・やまびこ館移転
はなさと	売却
緑	民間保育施設を誘致か?
天神川	借地なので返却
せつよう	売却
こやのさと	松中のテニスコート移転

☆PTA改革の波が押し寄せています

一昨年PTAについて本会議で質問しましたところ、「よくぞ言ってくれた」というご意見と、「任意加入なんて言ったら誰も入らないじゃないか」というお叱りのご意見と、両方いただきました。

川西市では、越田氏がPTA改革を公約に掲げ市長初当選。さっそく「PTAあり方検討委員会」を立ち上げました。改革しようという方々は、過去のPTAを否定しているわけではなく、現状に合わせた活動を求めているのです。学校も忙しい、保護者も忙しい、ならばできることをできる人で、でいいのではないか、と考えます。

市議会でも、教組出身の議員が「任意団体であるPTAの懇親会が負担」と本議会で発言されました。構成員であるT(教員)も本音が言えないPTA活動になっていることなのかな、と感じました。ただ、教員が忙しいから一層保護者や地域の力が必要だ、というのは、筋が違うと思います。教育活動として必要な事柄とその規模を見極めて、必要なところには、「人とお金」をつけることが重要です。

伊丹市で「そろそろPTAについて考えよう会」を主宰している伊丹小学校の前田裕子さん、『2コマでPTAを叫ぶ母』をツイッターで呟いています。「そんなことあった！今でも？」と呟く自分がいます。

起こせ！ムーブメント⑬



前田裕子さんのツイッターより。
「2コマでPTAを叫ぶ母」で検索してください

★いよいよ新庁舎の建設工事が始まります！

11月1日付の「広報いたみ」でもお知らせがあったように、来年1月8日からいよいよ建設工事が始まります。庁舎と楠広場の間の市道が廃止され、工事エリアは高さ3メートルの仮囲い板で囲まれます。それに伴って、庁舎への出入り口や駐輪場の場所が変わりますので、ご注意ください。7階の監査委員室からは工事現場がよく見えます。工事の進み具合を「ばんこが行く！」にアップしていきますので、よかつたらご覧ください。（右が7階からみた建設現場）

庁舎の工事計画は、

第1期 令和2年1月～令和4年11月

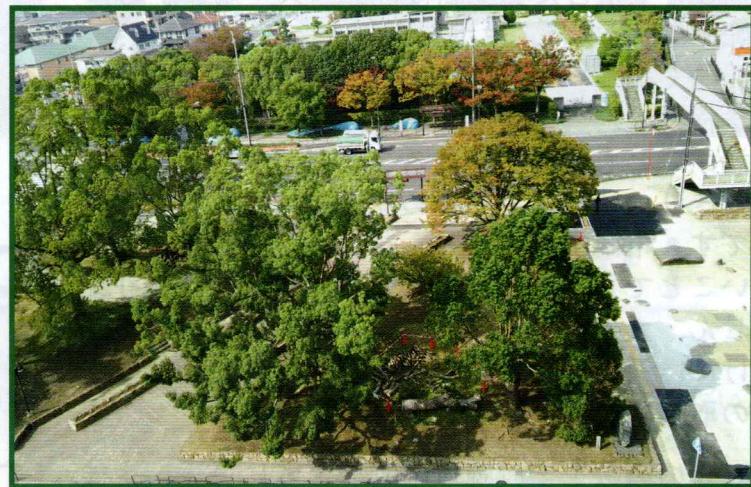
新庁舎を建設します、年末年始に
引っ越しの予定と聞いています

第2期 令和4年12月～令和6年5月

今ある庁舎を解体します

第3期 令和6年6月～令和6年8月

市民広場の外構工事をします



建設現場の土砂を今池（博物館横）に運んで埋め立てますので、博物館・防災センター周辺にも影響があります。中央公民館は解体され、跡地には新庁舎と竣工時期を合わせて、保健センター、口腔保健センターなどが入る「新保健センター複合施設」が建設されます。

★公共施設の建て替え計画とかかるお金は？

施設名	共用開始時期	経費（概算）
スワンホールと中央公民館統合	2020年4月	12億円
商工プラザ改修・男女共同参画センター新設	2020年4月	2億円
新庁舎建設	竣工2022年11月	160億円
こばと保育所移転新築	2020年4月	5億円
わかばこども園新築	2020年4月	14億円
さくらだいこども園新築（桜台幼稚園統合）	2020年4月	10億円
ラスタホール大規模改修	2021年4月	未定（10数億円？）
新児童館（現女性児童センター跡地に）	2021年1月	未定（5億円？）
新保健センター建設工事	2022年11月	10億円
南西部こども園（笹原幼稚園統合）	2022年4月	未定（10数億円？）
みやのまえ総合ミュージアム	2022年	未定（数十億円）
市立伊丹病院建て替え	2025年？	未定（400億円？）
この後も、文化施設、小中学校の施設などの改修が必要となります		

※未定の後の金額は市内類似施設等からばんこが推測したもので、確定ではありません

※みやのまえ総合ミュージアムは、美術館、博物館、工芸センター、柿衛文庫などを統合して、再編整備

伊丹市ってお金があるんですね、よく言われます。公共施設の多くはバブルの頃、競艇事業からの繰り入れ金が毎年数十億円もあった時代に建てられたのです。それらの施設に建て替えや大規模改修の時期が巡ってきました。人口が過去最大になり、市税収入や基金（貯金）が多少あって、国の有利な財源が使える今しか、取り組めません。未来の子どもたちに借金という負担を残さないよう、統合や縮小をしながら、公共施設マネジメント条例に沿って進めるよう、厳しくチェックしていきます。

9月議会の一般質問から スマホのながら運転を無くすために

6月17日に女子高校生の「スマホながら運転」(事故当時スマホを操作していたことは、履歴で確認、10月1日に重過失傷害容疑で書類送検)の被害に遭われた富田稔さんは、現在も話すことも自分で食べることもできません。寝たきりの状態で、回復の見込みは立たないそうです。市内を見渡すと、ながら運転のなんと多いことでしょうか。若い人たちだけではありません、大人だってやっています。この事故を受けて、教育委員会の対応と自転車の安全運転への取り組みについて質問しました。

Q. この事故を学校現場でどのように児童・生徒たちに知らせたのか。

A. 自転車の安全利用と自転車保険に加入するよう手紙を渡した。事故のことは伝えていない。

Q. なぜ事故が起きたことを伝えないのであるのか。

A. 加害者が未成年であり、どこの誰でどこの高校に通っているか警察から情報がないから。

ばんこ：事故の事実を伝え、誰もが加害者・被害者になる可能性があることを呼びかければ、身近なことと考え、双方にとって悲しい結果となる事故を防ぐことができるのではないか。今からでも検討すべきと考える。

Q. 自転車の安全利用の取り組みは？

A. 小学生用、一般用の冊子を作成して配布した。小中学校では、「自転車安全教室」を開催



市内児童生徒に配布した冊子。小学生版には「ながら運転ダメ」の記述がなく残念！本を渡されて、どれくらいの子どもが読むでしょうか。生きた教育が必要です。

し、自転車の安全な乗り方を指導している。

Q. 大人への呼びかけは？

A. 自主防災活動の中などで時間をもらって行っているが、参加者は多くない。

ばんこ：大人のマナーが悪いと子どもは真似ます。私自身も自転車マナーを守り、違反している人には声かけしていくよう心がけ、もう2度と悲しい事故が繰り返されないように、頑張って参ります。皆さんもルールを守って安全運転をしてくださいね。



議会選出監査委員の仕事とは？

市全体の財務や事業について監査を行います。各種団体の監査役と同じような仕事と考えていただければいいと思いますが、伊丹市の予算規模は、一般会計・特別会計・企業会計を合わせると約1500億円にも上ります。そのお金の毎月の出入り、お金の管理が適切か、事業が正しく行われているかをチェックします。議会の仕事とは別に、「監査委員室」で、資料の読み込み、対象となる担当課からの聞き取り、監査結果報告を行っています。決算監査も担当するので、議会の決算審査特別委員会（予算も）の委員にはなれません。

高塚ばんこのプロフィール

1959年 三重県生まれ、愛知県立大学スペイン学科卒業
語学力を生かして貿易会社勤務、その後貿易会社を共同設立
2003年 市議初当選、現在4期目、
今期より、会派「新政会」に所属

＜議会での役職＞

議会選出監査委員

文教福祉常任委員会委員
飛行場問題対策特別委員会委員
市立伊丹病院検討特別委員会委員



発行責任者：高塚ばんこ
自宅住所：伊丹市西台3-6-22-302

TEL 090-1147-4400

E-mail banko@brown.plala.or.jp

市議会事務局電話 072-783-1344

ブログ：「ばんこが行く！」はちら→
皆さまからのご意見をお待ちしております。
お困りごと、お悩み事のご相談もどうぞ！

